

(2017年11月号掲載)

**外国為替の変動が県内企業に及ぼす影響  
および海外需要の取り込みに関する意識調査  
～前篇：外国為替の変動による影響を  
県内企業はどのように感じているか～**

一般財団法人 群馬経済研究所  
主任研究員 斎藤 知宏

**【 要 約 】**

1. 本稿は、当研究所が今般県内企業を対象に実施したアンケートから、外国為替相場変動の影響を「感じることもある」とした166社に関して、その影響の状況や対策等を分析したものである。
2. どの通貨の為替変動により影響を受けるかを聞いたところ、米ドルを挙げる企業が圧倒的だったが、資本金5千万円超の企業では更に多様な通貨取引も挙げられている。
3. 為替変動の影響の感じ方では、売上や経費の額への「直接的影響」が大だとする企業が過半数だが、輸送機器では取引先からの今後の受注に変化を及ぼすような「間接的影響」を挙げる企業の方が多かった。
4. 円高・円安どちらへの変動が大きな影響となるかを聞いたところ、製造業でも4割が「円安」を挙げるなど、為替変動の影響の受け止め方は一様ではない。
5. 現在全く為替リスク対策を行っていない企業が約8割を占めているが、資本金5千万円超の企業では対策を行っていない企業の割合は5割強と相対的に低い。
6. 想定為替相場を策定している企業は半分以下であるが、策定している企業では相場実績や取引先の想定相場、日銀短観など多様なデータを参考としている
7. 為替変動が自社の損益に与える影響を聞いたところ、「変動幅次第では影響あり」が60%前後を占めた。「常に大きな影響がある」は資本金5千万円超の企業で他の資本金区分の企業よりもやや割合が高いことがわかる。

<キーワード> 為替 変動 影響